

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名： 高校教育指導課

担当名： 教育指導担当

内線： 6771

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B31	県立高校グローバル教育総合推進事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	国際理解教育推進費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			戦略項目	06	時代に応え未来を拓く人材育成	
					分野施策	020101	確かな学力と自立する力の育成		
1 事業の概要 グローバル教育を総合的に実施により、世界で通用する教養力と骨太なリーダーシップを備えた人材の育成を図る。 (1) 高校生・教員の海外派遣 1,148千円 (2) 語学指導等におけるネイティブスピーカー活用事業 16,300千円 (3) 世界の哲学・芸術文化アカデミー 560千円 (4) 世界に目を向ける高校生育成塾 200千円 (5) 外部専門機関と連携した英語担当教員の指導力向上事業 1,200千円 (6) 社会総がかりで行う高校生留学促進事業 6,500千円 報酬額等が見込みを下回ったことによる減額				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 高校生・教員の海外派遣 32,896千円 イ 語学指導等におけるネイティブスピーカー活用事業 384,150千円 ウ イングリッシュ・ブート・キャンプの実施(英語合宿100人) 0千円 エ 世界の哲学・芸術文化アカデミー(40名) 1,782千円 オ 世界に目を向ける高校生育成塾 1,450千円 カ 外部専門機関と連携した英語担当教員の指導力向上事業(拠点校2校) 2,682千円 キ 社会総がかりで行う高校生留学促進事業 8,500千円 ク 「地球人」育成事業(4校) 0千円 (2) 事業計画 各事業において4月から準備・募集開始。海外派遣は7～8月(ハーバード・MIT派遣のみ11月)。学校内実施事業は通年で準備・実施・振り返り。 (3) 事業効果 ア 各事業において、参加生徒にグローバルな視野を持たせ志を高める。 イ 各事業において、参加教員にグローバル人材育成のための資質を向上させる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 各事業において、大学教授や民間教育団体(アスペンなど)、彩の国芸術劇場などと連携しその力を活用する。 (5) 補正予算の概要 ア 高校生・教員の海外派遣：渡航に係る委託費用の入札差金による減額。 イ 語学指導等におけるネイティブスピーカー活用事業：報酬額が見込みを下回ったことによる減額。 ウ 世界の哲学・芸術文化アカデミー(40名)：講師謝金が見込みを下回ったことによる減額。 エ 世界に目を向ける高校生育成塾：講師謝金が見込みを下回ったことによる減額。 オ 外部専門機関と連携した英語担当教員の指導力向上事業(拠点校2校)：国からの交付額が見込みを下回ったことによる減額。 カ 社会総がかりで行う高校生留学促進事業：国からの交付額が見込みを下回ったことによる減額。					
2 事業主体及び負担区分 (1)～(4)(県10/10) (5)～(6)(国10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金	諸収入					
決定額	25,908	7,700	648	982			16,578	405,552	
現計額	431,460	11,182	22,680	37,916			359,682		